



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和7年12月6日（土）、三沢基地とその周辺に在住する日米の小学校以上を対象とした日米交流ピックルボール in Misawa 2025 を開催しました。

ピックルボールとは、テニス・卓球・バドミントンを組み合わせた、日本でも流行の兆しがあるアメリカ発祥のラケットスポーツです。今回のイベントでは、米軍三沢基地内のピックルボール団体である Misawa Pickleball にご協力いただき、幅広い年齢の方々にピックルボールを体験していただきました。

日米の参加者約40名は混合4チームに分かれ、ストラックアウトや玉入れといったミニゲームも交えながらピックルボールのレッスンをを行い、最終的にはダブルス形式での試合で交流を深めました。

参加者からは「スポーツを通じていろんな人と交流できて楽しかった。」「日本もピックルボールも好きなので、みんなとプレイできてよかった。」などの感想が寄せられました。イベント終了後には、米側参加者から日本人参加者に対して、基地内でまた一緒にピックルボールをプレイしようと声をかける姿が見られ、今回のイベントをきっかけにさらなる交流も生まれています。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



【ストラックアウト】



【レッスン】



【試合】



【集合写真】